

Chuo Vision 2035

学校法人中央大学は、創立150周年を迎える2035年に向け、中長期事業計画「Chuo Vision 2035」を策定しました。2016年からの10年間にわたり取り組んできた中長期事業計画「Chuo Vision 2025」の成果と実績を踏まえ、本計画では、時代の変化に的確に対応しつつ、本学のさらなる発展に向けて、新学部の新設や都心キャンパスの一層の集約化、組織構造の変革など、次なる展開を推進します。18歳人口の減少や人材需要の変容など、社会情勢が厳しさを増す中であっても、本学が50年後、100年後の日本および世界において確固たる存在感を示す大学となることを目指し、本学全構成員が一体となってさらなる成長と発展に取り組みます。

新たな伝統を紡ぐ そして次の150年へ Toward the 150th, and Beyond

詳細はこちらから▶



建学の精神

「實地應用ノ素ヲ養フ」 ～ジッチオウヨウノ ソヲ ヤシナウ～

Mission

文化の創造・発展と社会・人類の福祉に貢献する教育研究を推進し、
「行動する知性 (Knowledge into Action)」を備えた人材を育成する

Vision 2035

創立150周年である2035年度の本学のあるべき姿を Vision 2035とする

Vision 1



創立150周年に向けた
中大ブランドの継承と
新たな価値創造

Vision 2



予測困難な時代に求め
られる力を育む「実学」
教育を通じた人材育成

Vision 3



伝統が育んだ「知」を
結集した研究の推進と
社会との共創

Vision 4



誰もが個性と能力を
発揮できる場の創出

Vision 5



学内リソースの結集に
よるシナジーの最大化

中長期戦略

「Vision 2035」を達成するため、各Visionごとに定めた戦略を中長期戦略とする

中長期計画

「中長期戦略」を実現するため、各戦略ごとに定めた具体的な取組みを中長期計画とする

世界にあたらしい見方を。 2027年4月 スポーツ情報学部(仮称)開設予定(認可申請中)※

スポーツを見つめ、スポーツで学ぶ。

2027年4月に多摩キャンパスにスポーツ情報学部スポーツ情報学科(仮称)を開設予定(認可申請中)です。本学部では、スポーツを通じてAI・データサイエンスとビジネスを学ぶとともに、数字の奥にある本質を見抜き、適切な問いを立て、課題解決の仮説を発想し、その具現化により社会に価値を創り出すことのできる力を身に付けるカリキュラムを提供します。また、プロスポーツ組織などの企業や地域と連携した課題解決型学習(PBL)により、知識や理論だけではなく実践的なスキルを磨きます。

本学部は、こうした文理横断・融合的な学びによる視野の広さ、理論と実践の往還による深い洞察をベースとして、社会における問題を解決する糸口を発見し、それを解決することで、社会に新たな価値を創出することができるデータ活用人材を育みます。



▲スポーツ情報学部(仮称)特設サイト



データサイエンスコース

データを読み解き社会や現象を可視化

スポーツビジネスコース

データから新たなビジネスモデルを探究・実装

中大経済のシンカが未来を動かす 2027年4月 学科再編予定(認可申請中)※

新・中央大学経済学部始動

環境問題や格差、国際情勢、デジタル化など、社会課題が複雑化する中、経済学には理論だけでなく、データや制度、現場を多面的に捉える力が求められています。こうした変化に対応できる人材を育成するため、中央大学経済学部は2027年4月に2学科4コース制へ再編します。再編では「専門性の深化」「実践力の強化」「社会への貢献」を柱に、学生が自ら課題を発見し、解決に挑む教育体系へ進化し、未来において真価を発揮できる人材を育成します。



▲経済学部 学科再編特設サイト

Department of Economics

本質を見抜く

分析力の経済学科

経済政策コース

- 政策分析プログラム
- 企業・産業分析プログラム
- 地域分析プログラム

国際経済コース

- 貿易・国際金融プログラム
- 国際開発プログラム
- 環境プログラム

Department of Society and Economics

最適に挑む

実践力の社会経済学科

社会経済コース

- 政治経済学プログラム
- 社会政策プログラム
- 社会経済史プログラム

地域・マネジメントコース

- 経営会計プログラム
- 統計・データサイエンスプログラム
- 地域創生プログラム

※認可申請中または、設置構想中のため今後の検討により変更することがあります(2026年6月現在)

テクノロジーで 未来はもっと、耕せる。 2028年4月 情報農学部(仮称)開設予定(設置構想中)※

「農業×テクノロジー」で、農・食・環境分野の新たな価値を創造

2028年4月に多摩キャンパスに情報農学部情報農学科(仮称)を開設予定(設置構想中)です。日本の農業は、人口減少や高齢化、耕作放棄地の増加、気候変動、食の安定供給など、さまざまな課題を抱えています。こうした課題を、ドローンやロボティクス、フードテック、AIなどの最先端テクノロジーを農業に活用する「AgriTech」で解決し、持続可能な社会の実現に貢献する人材を養成します。作物や土壌、植物生理学といった「農学の基礎」を土台に、データサイエンスやロボティクスを融合する先進的なカリキュラムを展開します。



▲情報農学部(仮称)特設サイト



アグリテックコース

最先端テクノロジーで「新しい農業」を創る

フードサイエンス・マネジメントコース

「おいしいセカイ」の持続可能性を追求する

環境システムコース

農業と環境の最適化を目指す

中央大学社会共創推進機構を創設

「知」の社会実装に取り組む新たな学際研究組織「研究イニシアティブ」を始動

2026年4月、研究成果の社会実装を加速させ、複雑化する現代社会の課題解決に寄与することを目的として「社会共創推進機構」を創設しました。本機構は、次世代人材の育成とともに大学に課せられた「知の社会還元」という重要な使命を果たすための全学的なプラットフォームです。

主な取り組みとして、実現を目指す社会像から逆算した学際研究組織「研究イニシアティブ」を始動。「都市における個とコミュニティのWell-Beingに資する分野融合による基盤技術の創出」を重点課題に掲げています。文理の枠を超えた学内の専門知を融合させる「分野融合型研究の推進」、企業や自治体とのネットワークを強固にする「産官学連携の深化」、そして実社会の課題解決を通じてイノベーションを牽引する「高度専門人材の育成」の3柱を軸に活動を展開します。

本学の伝統である「実学」の精神に基づき、本機構を通じて研究成果を迅速に社会へ展開することで、我が国の持続的な発展とイノベーション創出に寄与することを目指します。

